ゲンチアナ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品はほぼ円柱形を呈し，長さ 10～50cm，径 2～4cm で，外面は暗褐色である．根茎は短く，細かい横じわがあり，その上端には芽及び葉の残基を付けることがある．根は深い縦じわがあり，ややねじれている．折面は黄褐色で，繊維性ではなく，形成層付近は暗褐色を帯びる．

本品は特異なにおいがあり，味は初め甘く，後に苦く残留性である．

本品の根の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，通例，4～6 層の細胞壁の薄いコルク層に内接して数層の厚角組織があり，二次皮部の柔組織は不規則に師部を分布する．木部は主として柔細胞からなり，単独又は数個集まった道管及び仮道管を分布し，また少数の木部内師管が存在する．皮部及び木部の柔細胞中には油滴及び微細なシュウ酸カルシウムの針晶を含み，でんぷん粒は極めてまれに存在し，その大きさは径 10～20μm である．